建設業 しんこう

建設産業の
今を伝え未来を考える

10
Oct. 2017
No.492

特集

建設業の技術者

一般財団法人
建設業振興基金

みんなで休む
みんなで働く
みんなで作ろう
より良い環境

日建協加盟組合

青木あすなろ建設職員組合
淺沼組職員組合
安藤・間職員組合
奥村組職員組合
鴻池組労働組合
五洋建設労働組合
佐藤工業職員組合
佐藤秀労働組合
シミズユニオン
鈴与三和グループ労働組合
錢高組労働組合
大鉄工業労働組合
大日本土木労働組合
大豊建設労働組合
鉄建建設職員組合
東鉄工業労働組合
東洋建設職員労働組合
戸田建設職員組合
飛島建設労働組合
中山組職員労働組合
西松建設職員組合
日本国土開発コミュニケーション協議会
日本総合住生活労働組合
野村労働組合
ピーエス三菱労働組合
藤木工務店労働組合
フジタ職員組合
松村組職員組合
馬淵建設職員組合
丸彦渡辺建設職員組合
三井住友建設社員組合
宮地建設工業労働組合
名工建設職員組合
横河ブリッジ労働組合
りんかい日産建設職員組合

後援
国土交通省　厚生労働省　内閣府
一般社団法人 日本建設業連合会　一般社団法人 全国建設業協会　一般社団法人 日本道路建設業協会　一般社団法人 日本建設業経営協会　一般社団法人 情報通信エンジニアリング協会　建設業労働災害防止協会
一般財団法人 建設業振興基金　公益社団法人 日本建築士会連合会　公益社団法人 日本建築家協会　一般社団法人 日本コンストラクション・マネジメント協会

11月11日（土）は
統一土曜閉所日

建設産労懇
マスコットキャラクター
産労コーン

当作業所は11月　　日（　　）に 読み替えて閉所します

カエル！ジャパン
Change! JPN

建設産業のワーク・ライフ・バランス実現のために建設産労懇の仲間とともに取り組んでいます
（日建協・全電工労連・基幹労連建設部会・道建労協・通建連合・長谷工グループ労働組合）

今回のポスターのキャッチフレーズは、澤山晃也さん（名工建設職員組合）の作品です。

日建協
2017.11

建設産業の今を伝え未来を考える

建設業しんこう

10
Oct. 2017

No.492

CONTENTS

編集・発行：一般財団法人 建設業振興基金
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目MTビル2号館
TEL. 03-5473-4584　FAX. 03-5473-1594
http://www.kensetsu-kikin.or.jp/

02 特集 **建設業の技術者**

「適正な施工確保のための技術者制度検討会」とりまとめについて　国土交通省土地・建設産業局建設業課

技術者不足の解消にどう取り組むか
日経コンストラクション編集長　野中　賢

虎ノ門トラストシティ ワールドゲートの現場技術者に聞く「建設技術者のしごと」――
お客様の「ありがとう」に感じる喜びは建設技術者ならではの醍醐味
清水建設株式会社 東京支店 建築第二部　工事長 野田　衛さん
山岸　拓矢さん

PRESCRIPTION

08 日本経済の動向　成長市場ASEANを読み解く

09 建設経済の動向　両極端な「1者入札」「くじ引き」多発

10 連載 かわいい土木【第6回】
◆常盤台のクルドサック／東京都板橋区

12 KALEIDOSCOPE
今どきの工事現場はユニーク&かわいいがキーワード!?
かわいい工事現場

13 しんこうTODAY 振興基金の活動報告

14 FOCUS
教員の建設実務面を支援
第1回「実務施工体験研修」
教員免許更新制における免許状更新講習（選択領域）
～担い手の育て手（指導者等）の確保に向けて～

16 連載 街に出ればアートがいっぱい マチナカ美術館【第3回】
◆香川県高松市　高松港周辺の作品

Webサイトを全面リニューアルしました！
『建設業しんこう』はWebでもご覧いただけます。
建設業しんこうWeb
建設産業の今を伝え未来を考える

http://www.shinko-web.jp/
しんこうWeb　検索

■「建設業しんこう」に関するご意見・ご要望　TEL.03-5473-4584（企画広報部）
kikaku@kensetsu-kikin.or.jp

デザイン・印刷：日経印刷株式会社
◎本誌記事の無断転載を固く禁じます。

特集

建設業の技術者

建設生産システムを取り巻く環境が大きく変化する中、今年の6月、約3年近くにわたる議論を経て、国土交通省の「適正な施工確保のための技術者制度検討会」におけるとりまとめが公表されました。本特集では、今後の技術者制度と若手技術者確保・育成の方向性、建設業技術者という仕事の魅力などについてご紹介します。

「適正な施工確保のための技術者制度検討会」とりまとめについて

国土交通省土地・建設産業局建設業課

1 はじめに

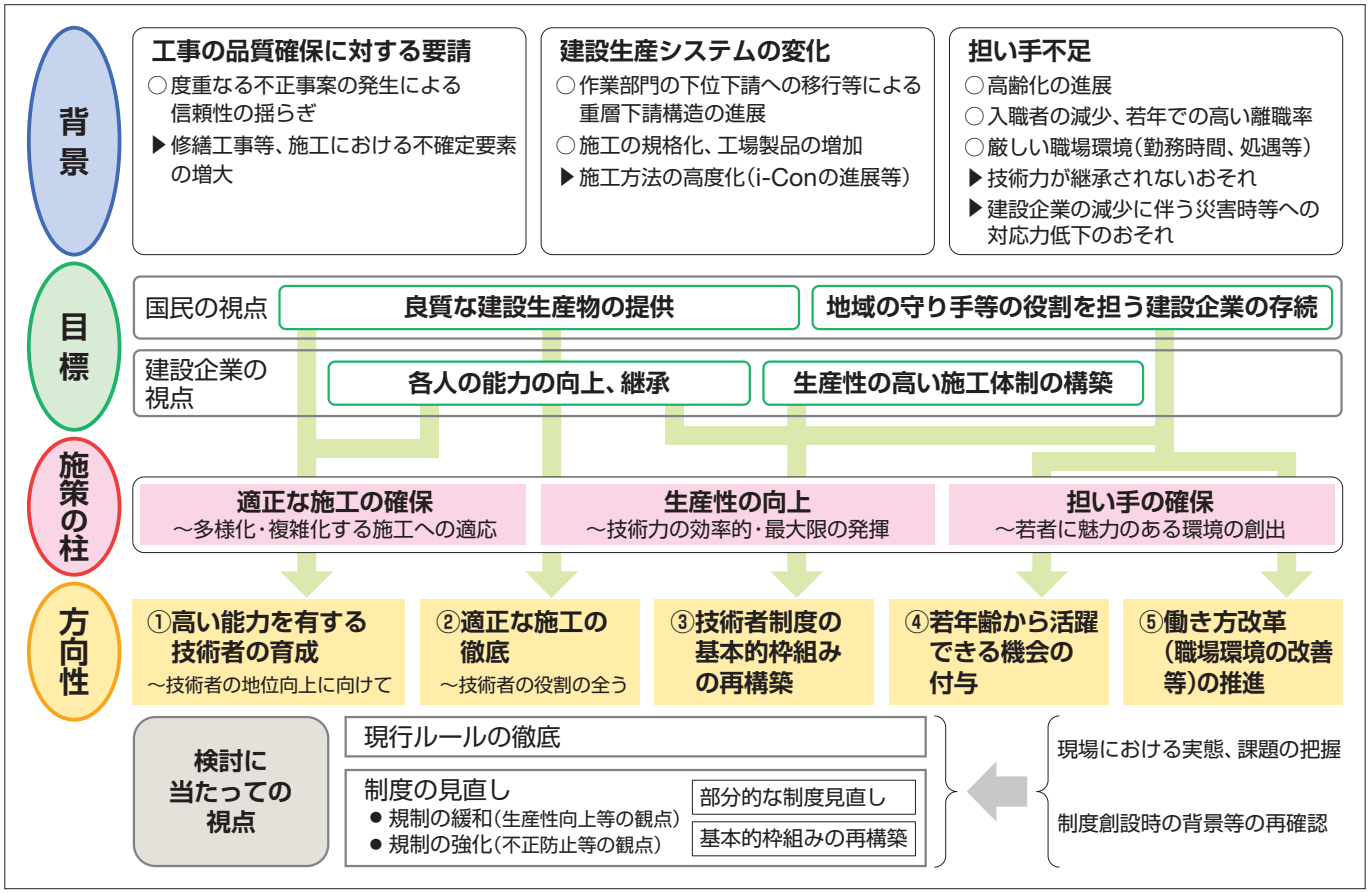
国土交通省では、建設工事の適正な施工の確保、優秀な技術者の確保及び育成のための制度上、運用上の問題点を把握し、講ずべき施策の検討を行うため、学識経験者からなる「適正な施工確保のための技術者制度検討会」（以下「検討会」という。）を設置、平成26年9月より17回にわたりご議論をいただき、平成29年6月にその検討内容がとりまとめられました。

図-1 適正な施工確保のための技術者制度検討会 委員名簿

	秋山 哲一	東洋大学理工学部建築学科教授
	井出 多加子	成蹊大学経済学部教授
	遠藤 和義	工学院大学建築学部教授
	大森 文彦	弁護士・東洋大学法学部教授
◎	小澤 一雅	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授
	木下 誠也	日本大学危機管理学部教授

※◎：座長（五十音順、敬称略）

図-2 適正な施工確保のための技術者制度検討会 とりまとめ概要



資料提供：国土交通省

2 具体的な技術者制度の方向性

とりまとめでは、**図-2**に示す背景、目標、施策の柱を整理し、これを踏まえた5つの具体的な技術者制度の方向性が示されました。この5つの方向性に関する主な具体的方策は次のとおりです。

①高い能力を有する技術者の育成 ～技術者の地位向上に向けて

- **信頼性・専門性の高い資格保有者の輩出と現場への配置推進**
  公的資格保有者の配置推進、電気通信工事の技術検定制度創設、主任技術者資格について民間資格の認定推進
- **技術者の能力向上 ～施工技術等の進展への適応**
  継続的な技術研鑽の仕組みづくり（CPD等既存の枠組みの活用、現場実務経験の評価）
- **より高い能力を有する者が評価される環境の整備**
  特に難易度の高い工事や重要な工事についてより高い技術を有した者による施工管理

②適正な施工の徹底 ～技術者の役割の全う

- **適正な能力を有した技術者の配置の徹底**
  専任の監理技術者に対して導入されている確認制度の元請企業の主任技術者への拡大の検討
- **法令で義務化された事項の運用徹底**
  現場配置技術者と営業所専任配置技術者の兼務等法令遵守状況のチェックへ向けたデータベースの融合
- **不正行為による施工不良事案の根絶**
  技術者個人による不正行為への対応の検討
- **建設企業以外の者の役割の明確化**
  メーカーや商社等の位置づけの検討、工場製品製造者等への行政関与制度の創設

③技術者制度の基本的枠組みの再構築

- **元請企業と下請企業の区分け**
  元請企業と下請企業の技術者の役割の明確な区分、監理技術者配置要件の検証
- **関係者の役割の明確化**
  現場代理人、職長等の役割の明確化
- **元請企業における施工体制**
  ～元請企業内での「チーム」による施工を支援する環境づくり
  監理技術者に対する本社やベテラン技術者による支援、補助技術者の配置
- **下請企業における施工体制**
  ～複数の専門工事企業による「チーム」を前提にした制度構築
  主任技術者配置をチーム単位とする概念の導入
- **今後の検討課題**
  ～具体的な制度の再構築（監理技術者の配置要件、技術者の専任要件の見直し等）に向けて
  金額要件以外の基準導入可能性の検討

④若年齢から活躍できる機会の付与

- **技術検定制度の改革**
  ～早期資格取得へのチャンスの拡大
  試験の年2回化、学科試験合格者の実地試験受験可能回数の拡大、学科試験合格者へ「技士補」称号の付与、職業訓練の実務経験年数への算入
- **若手技術者の現場登用機会の創出**
  2級技士取得の1級技士補（前述）の現場登用機会の検討、技士補の経営事項審査の技術力評点への算入の検討

⑤働き方改革（職場環境の改善等）の推進

- **監理技術者に対するサポート体制の充実**
  本社からのサポート体制、補助的な技術者の配置
- **提出書類の簡素化**
  工事書類の簡素化、監理技術者資格者データの経営事項審査への活用
- **技術者の途中交代**
  女性活躍推進の観点からの交代要件の拡大、明確化
- **営業所専任技術者のあり方**
  工事現場との兼務を認める対象の拡大
- **企業集団に関する技術者の有効活用**
  企業集団内の技術者の融通機会の拡大

3 おわりに

検討会では、建設業法が制定されて約70年が過ぎる中、制度の根幹をなす部分にまで踏み込んだ議論が必要ではないかとの認識に立って議論が行われました。今後、これらの具体的方策を踏まえ検討を進めていくこととしています。

技術者不足の解消にどう取り組むか

日経コンストラクション編集長　野中　賢

1 足りないのは技能者だけ?

建設業の就業者が最も多かったのは1997年(685万人)。その後は年々減少し、2010年に初めて500万人を割り込んだ。わずか十数年で3割近く減ったことになる(**図-1**)。

当時、就業者の減少はそれほど大きな問題と見なされていなかった。建設投資も同様に減少していたからだ。1994年に84兆円でピークだった建設投資は、バブル経済崩壊後の景気悪化や民主党への政権交代などで右肩下がりになり、2010年には42兆円とピークから半減。就業者の減少よりも激しいペースで仕事が減っていたのだ。

ところがその後、情勢が一気に変わる出来事が立て続けに起こった。2011年3月の東日本大震災と、2012年12月に発生した中央自動車道・笹子トンネルでの天井板崩落事故だ。東日本大震災では、短期間のうちに多くのインフラを復旧・復興するために大量の人材が必要となった。笹子トンネルの事故は、インフラの維持管理の重要性を社会に知らしめる契機となり、将来の維持管理を担う人材確保の重要性がにわかにクローズアップされた。テレビや一般紙でも、建設業の人材不足が話題に上る機会が増えた。

そうした報道の多くは、現場で直接ものづくりに携わる建設技能者を対象としたもの。世間一般には、「建設業の人手不足=技能者不足」という認識が定着した。しかし、足りないのは技能者だけではない。

図-2は、直近10年間の職業別の有効求人倍率を示したものだ(各年12月のデータ)。建設業は全職業(黄色の折れ線)に比べて明らかに高く、2010年以降はほぼ右肩上がりで増え続けている。技能者の一分類である「建設躯体工事の職業」が飛び抜けて高いが、一方で「建築・土木・測量技術者」も、「建設の職業」や「土木の職業」に比べてかなりの高水準になっている。技能者不足の陰に隠れているが、技術者の不足も深刻さを増しているのだ。

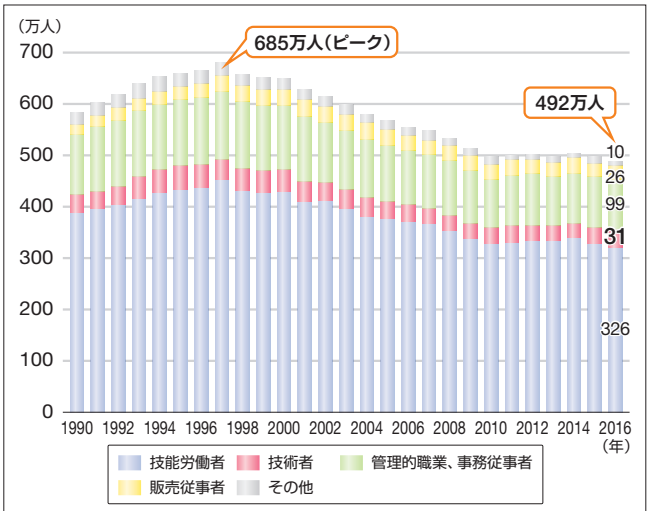
2 建設会社が感じる技術者の「不足感」

足りないのはどのような技術者なのか。

実感している方も多いと思うが、建設業では高齢化が進んでいる。**図-3**のように、建設業就業者のうち55歳以上が3分の1を占めるのに対し、29歳以下は1割にすぎない。一時期に比べて緩やかになっているとはいえ、全産業平均と比べて高齢化の度合いは著しい。**図-4**の通り、建設投資が減少し始めた1997年以降、入職者は極端に減少。結果、建設会社では入社20年目以上の社員は多いが、これから主力になる層は圧倒的に不足している。そのため、工事量が回復した2011年以降、技術者を配置できずに入札参加を見送る会社が珍しくなくなった。各地で入札不調・不落が多発したのも、その表れだ。

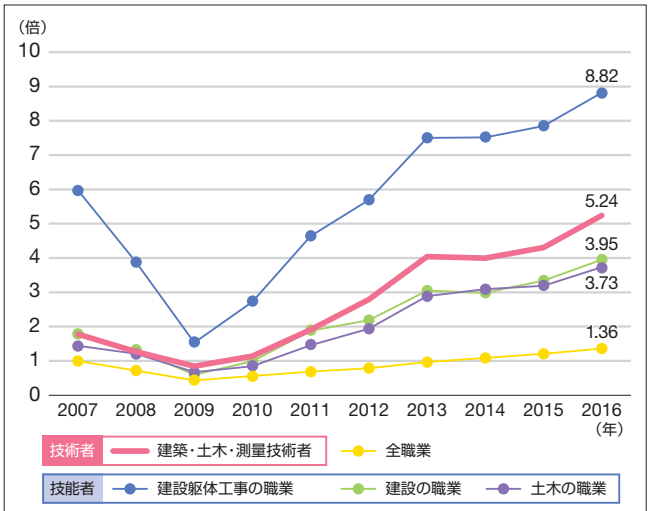
建設会社は、一時は抑制気味だった社員の採用に再び力を入れているものの、規模の大小や中央・地方を問わず、なかなか希望通りに進んでいない(**図-5**)。新規学卒者だけでなく、足りない世

図-1 建設業就業者数の内訳の推移



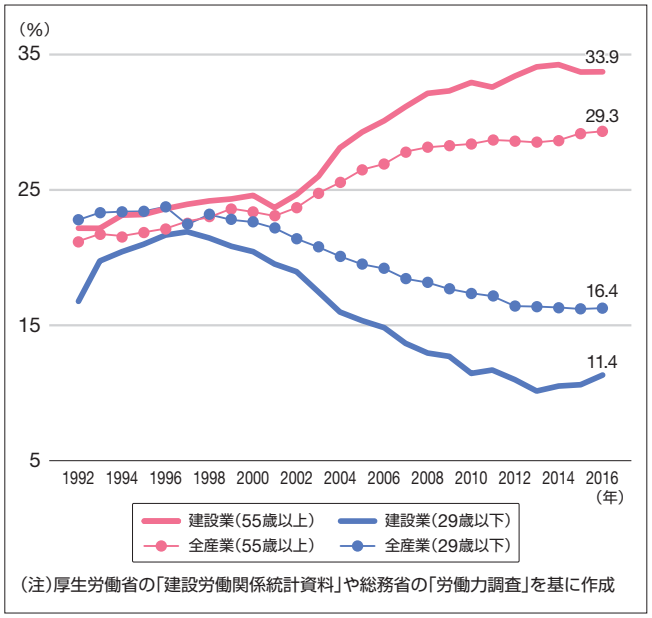
(注)国土交通白書2016などを基に作成。元の資料は総務省の「労働力調査」。2011年のデータは東日本大震災の影響から推計値。

図-2 建設業の有効求人倍率の推移



(注)厚生労働省の「一般職業紹介状況」を基に作成。各年12月時点の「常用・パートを含む」の数値を示した。

図-3 就業者数の年齢構成の推移



(注)厚生労働省の「建設労働関係統計資料」や総務省の「労働力調査」を基に作成

代を埋めるための中途採用にも積極的だが、30代の技術者は絶対数が少ないのだ。国土交通省が全国の建設会社を対象に継続的に実施している「建設業構造実態調査」によれば、建設業の経営上の課題として「人材不足」を挙げた会社の割合が、2008年度から2014年度にかけて2倍以上に増加した(2008年度：28.0%、2014年度：65.5%)。

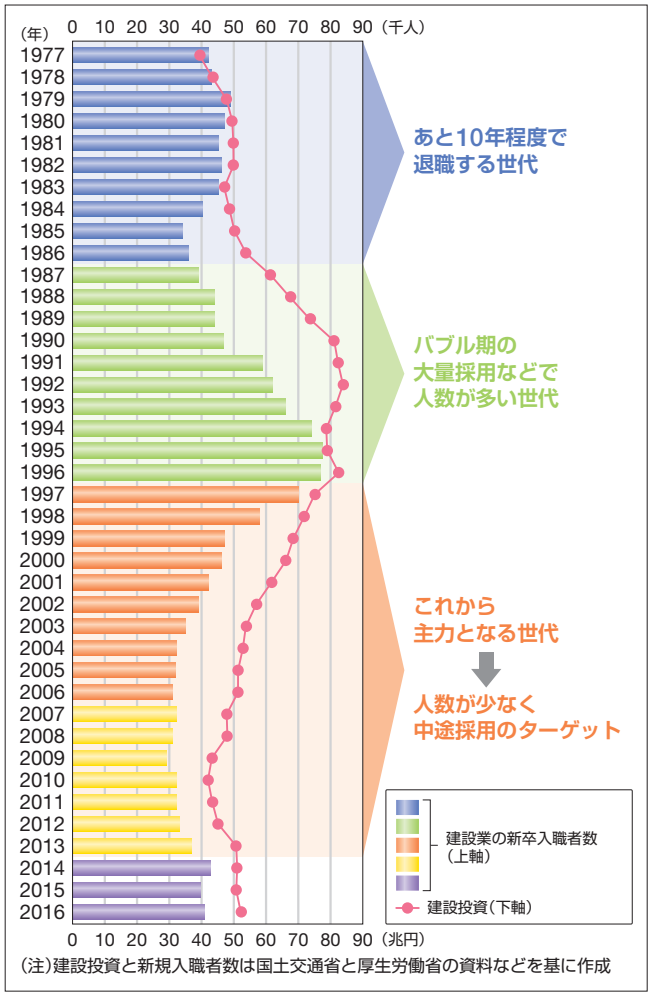
3 技術者確保にどう取り組んでいくか

技術者不足の解消に向けて、国土交通省は2014年に担い手三法(品確法、入札契約適正化法、建設業法)を改正し、それに基づく施策を矢継ぎ早に繰り出してきた。例えば、公共工事設計労務単価の大幅な引き上げ、発注や施工時期の平準化など。建設会社が適正な利益を得られる環境を整え、働く人の待遇を改善し、担い手を確保するのが目的だ。若手の登用を促す入札制度の試行や、若手技術者を採用している会社の経営事項審査での優遇のように、若手の確保につながる施策も打ち出している。

今年6月の「適正な施工確保のための技術者制度検討会」の取りまとめで示された技術者制度の方向性でも、担い手確保が1つの柱として据えられている。若手が資格を取得しやすくなるように受験機会を増やす、働き方改革に向けて提出書類の簡素化を図るといった方策が盛り込まれた。一企業での努力には限界があることから、こうした行政による後押しは不可欠だ。

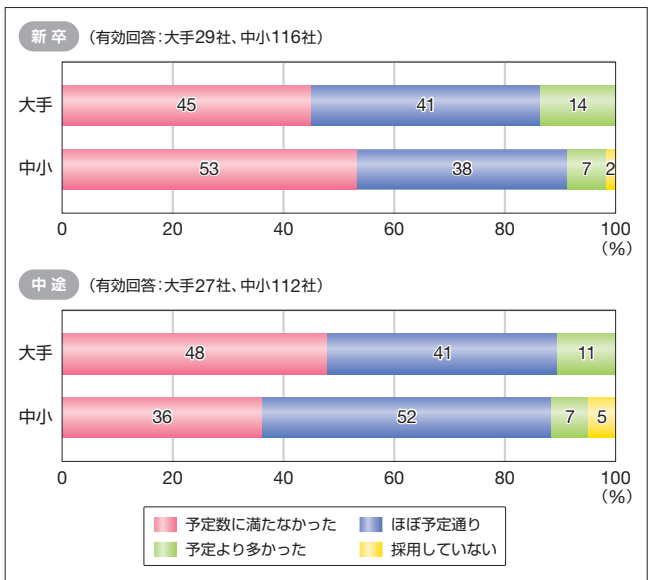
若手技術者の育成に悩む企業は多く、正解は存在しない。ただ、若手の面倒を会社ぐるみでこまめに見るといった対策で定着率を高めている事例は意外に多い。「数値化」は難しいが、そうした地道な努力をしている会社を評価する仕組みが整えば、若手の確保・育成へのインセンティブはさらに高まるのではないだろうか。

図-4 景気の変動による建設業就業者のいびつな年齢構成



(注)建設投資と新規入職者数は国土交通省と厚生労働省の資料などを基に作成

図-5 建設会社の人材の採用状況



(注)日経コンストラクションが2017年に実施した建設会社を対象にしたアンケート調査の結果から抜粋。17年4月入社の新卒採用と、16年4月～17年3月の中途採用について、予定の人数を採用できたかどうかを尋ねた。当期の売上高が1000億円以上の会社を「大手」、それ未満の会社を「中小」と分類した

虎ノ門トラストシティ ワールドゲートの現場技術者に聞く「建設技術者のしごと」――

お客様の「ありがとう」に感じる喜びは建設技術者ならではの醍醐味

何もなかった土の上に1本の杭が打ちこまれ、やがて大勢の人々や資材が集まり、力強い重機の音と共に真新しいビルが立ち上がっていく。現在、東京港区で建設が進む地上38階建ての高層ビルの現場で活躍する、ベテランと若手、2人の技術者にお話を伺いました。

プロジェクトの成否は「人の和」で決まる

清水建設株式会社 東京支店 建築第二部
工事長　野田　衛さん

野田さんは、入社して23年目というベテランの技術者です。これまでも東京千代田区永田町の超高層ビル「山王パークタワー」や、3019枚ものガラスを使った巨大な建築で知られるJR金沢駅東口の「もてなしドーム」など、いくつもの大型プロジェクトを経験してきました。中でも印象に残っているのは、16年間勤務した北陸支店で手がけた大手酒造会社の工場群です。

「そこでは、私たち建設会社と設計事務所、そしてお客様である酒造会社の3社が、分野は違えど、お互いをものづくりの専門家として尊重し合い、三位一体となって協力しながらプロジェクトを進めていく経験を通じて、技術者としてだけでなく人としても大きく成長させてもらいました」。

現在の現場では、工事長として担当工区に関わる社員や協力企業を束ねる立場にあります。野田さんは立場の異なる大勢の人々が集まる現場では、人の和（チームワーク）が何より大切だと言います。

「QCDSE（品質、コスト、工程〈工期〉、安全、環境）の5つのバランスを取りながら、各人が良い仕事ができるように目配りをしていきます。プロジェクトを良くするのも悪くするのも、現場のチームワーク次第です」。

そのために心がけているのが、各協力業者の職長とのコミュニケーションです。

「この現場の作業員は、現在250名、ピーク時には1,500名を超えます。これだけの人数を工事長だけでまとめるのは不可能です。各グループや協力会社の職長と信頼関係を結び互いに敬意を払い、手を取り合うことができてこそ、前に進めるのです」。

ここでは周辺の地下水を下げながら地下22mまで地盤を掘り下げるために、60mという異例の深さの山留め壁を設置するなど、他では例を見ない高度な工法が使われています。また地下水を下げるために汲み上げた水は、浄化した上で地中に戻すなど、環境にも十分配慮しています。

「日々こうした課題や最新技術と取り組むのは苦労もありますが、建設業は一品生産。どんなに技術が進歩しても建築物を形にするときは『自分たちの意志』がないと完成しません。そしてすべてが完成してお客様や工事に携わった方々から『ありがとう』の声をいただけた瞬間、すべての苦労が吹き飛んでいきます。この醍醐味はベテランも新人も同じ。少しでも建築に関心のある若い人が、この建設技術者ならではの喜びを味わってくれることを願っています」。

一人で何でもこなした経験が成長の糧に

清水建設株式会社 東京支店 建築第二部
山岸　拓矢さん

若手技術者の1人である山岸さんは、今年で入社5年目。小さい頃から、建設現場で働く父親を格好いいと思っていたと話します。建設技術者という進路を意識したのは大学進学のとき。得意の理系科目を生かせる就職先を考えたときに、建築というキーワードが浮かんできました。

「最初は設計をやりたいと考えていたのですが、大学で勉強するうちに、実際に建物を作っていく現場監督に興味を持ちはじめたのです。私も父親と同じように現場の第一線に立って建物を作りたいと思い父に相談したところ、大変な仕事だけれどやりがいのある仕事だと言われ決めました」。

清水建設に入社して最初に配属されたのが、関東支店の群馬営業所。さっそく5階建ての病院の建設現場に入ったものの新入社員ゆえに右も左もわからず、しかも社員が3人しかいない現場だったので、先輩が手取り足取り教えてくれる余裕もなかったとのこと。

「まず自分で考えて、聞いて、手探りで進むしかありませんでした。でも今振り返ると、自らすすんでいろいろなことを調べて覚える経験ができて良かったと思っています」。

知らず知らずのうちに現場の仕事全体を見る経験を積んだおかげで、2年目以降は自分が主動となって現場を動かしていけるようになったと山岸さんは語ります。

そんな山岸さんが座右の銘としているのが「現状維持は退化である。」という高校の野球部の先輩の言葉だ。この言葉を常に意識し日々現場に挑んでいる。

現在「虎ノ門トラストタワー」で担当しているのは、地下4階の床を地上で作る作業です。あらかじめ床を地上で作ってストックしておき、必要な時に地下に降ろしていけば、効率よく作業が進められます。こうした作業は初めてですが、予期せぬ問題が出てきたときも、やはり群馬での経験を生かして、そのつど解決方法を探りながら進めているといいます。

これから建設の仕事に進もうと考えている若い人に一言アドバイスを、とお願いしたところ、「様々な職種の人と協力して建物を作り上げていく仕事なので、コミュニケーションを大事にする人は、建設の仕事に向いていると思います。また私自身も先輩方にいつも言われることですが、お客様は私達を信頼して仕事を任せてくれているのだから、こちらも妥協せず良いものを作る義務がある。そういうプロとしての意識をこれからも持って建物を作り上げていきたいと思います」。

建設業の技術者とは

建設業の特性
建設業者は、道路等の公共施設から大規模なビル・住宅等の建物をつくるなどの大きな社会的使命を負っています。
建設工事の発注者は、建設業者の施工能力を信頼して請負契約を締結することとなりますが、建設業には次の特性があります。

- **一品受注生産** ➡ 発注者があらかじめ品質を確認できない、完成後に瑕疵の有無を確認する事や瑕疵の補修が困難な場合がある
- **総合組立生産** ➡ 様々な材料や機材を適切に組合せて工事を行う必要がある
- **現地屋外生産** ➡ 地形、地質や日々変化する気象等の自然条件等に対応する必要がある
- **労働集約型生産** ➡ 多くの専門工事業者、技能労働者等の能力を活用して工事を行う必要がある

建設業の技術者は、施工現場にあって、上記の特性に対応する高度な技術力を十分に発揮することにより、良質な建設サービスを提供するとともに一括下請負などの不正行為を防止し、更には技術と経営に優れ、発注者から信頼される企業が成長できるような環境の整備に貢献することが求められます。

技術者の職務
施工現場に配置される技術者は、工事を適正に実施するため、施工計画の作成、工程管理、品質管理、その他の技術上の管理及び施工に従事する者の技術上の指導監督の職務を誠実に行わなければならないとされています（建設業法第26条の3第1項）。

監理技術者と主任技術者
建設業者が工事を施工するときは、工事現場における工事の技術上の管理をつかさどる主任技術者を置く必要があります。更に、発注者から直接工事を請負う元請けの建設業者が合計4,000万円（建築一式工事の場合は6,000万円）以上の下請契約を締結して工事を施工する場合は、監理技術者を置かなければなりません（建設業法第26条第1項及び第2項等）。

監理技術者と主任技術者の資格要件の概要
- 監理技術者：1級施工管理技士等の1級国家資格者等、指定建設業以外の場合は元請けとして請負金額が4,500万円以上である工事において、2年以上の指導監督的な実務経験等を有する者 等
- 主任技術者：1級及び2級国家資格者等、3～10年（業種、学歴等により異なる）の実務経験を有する者 等

多様性の理解が事業展開に不可欠

成長市場ASEANを読み解く

みずほ総合研究所 チーフエコノミスト　高田　創

今日、世界の成長を支えるのは、アジア地域と言っても過言ではない。世界第2位の経済大国の中国、2020年代には世界第1位の人口を有するインド、そしてASEAN（東南アジア諸国連合）の存在がある。今回は、このうちASEANに焦点を当てて、成長市場としての特徴や、日本企業にとっての重要性などについて解説する。

安定的な成長を続けるASEAN

ASEANは2015年末にASEAN経済共同体（AEC）を発足させ、徐々にではあるが経済的な一体感を強めている。一時論じられた「チャイナ・プラス・ワン」戦略で、賃金の安い立地先としての役割が注目されたが、今後は、広域アジアのサプライチェーンを確保する重要拠点としての役割が、経済成長に伴う中間層の台頭を背景とする内需拡大のなかで、重要な要素になってくる。

過去20年余りの、世界とASEANの成長率をみると、2000年代以降、ASEANは世界経済の平均を上回る安定成長を続けている**（図1）**。中国の成長はASEANを常に上回っているが、中国経済が近年、成長率を傾向的に鈍化させる一方で、ASEANは安定的な成長を続け、両者の成長率の差は縮小してきている。今後、中国が人口動態の影響もあり、傾向的に成長率を鈍化させていく状況とは対照的に、ASEANでは近年5%前後の成長が保たれ、今後も生産年齢人口が増え続けて成長が支えられる見通しであるなど、安定感が目立ちつつある。

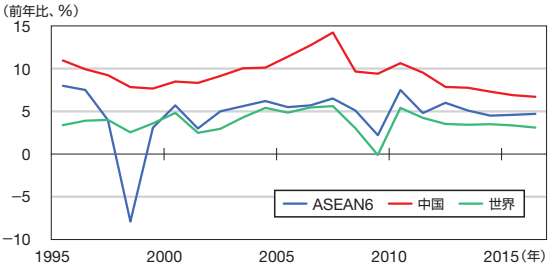
ASEANの成長を支える多様性

日本企業のビジネスターゲットとしてのASEANのプレゼンスは、1990年代後半のアジア通貨危機時に急落した。ただし、近年は、総人口6億人を有することなどから**（表1）**、ASEANの再評価の動きが見られる。

ASEANはその特性として、多様性を有している**（表2）**。ASEANが安定成長を続けている背景には、個々の国々が有する異なる優位性や特徴が、多様な成長ドライバーになっている点がある。このような多様性により、ASEANは、全体として異なる比較優位産業を持つ各国が補完しあう形で、総合力と安定性を発揮することになる。こうした特性から、リーマン・ショックのような外的ショックに際しても、成長は下支えされていた。また、人口規模が大きいインドネシアやフィリピン、ベトナムなどで、中間層の拡大に伴い内需の厚みが増している点も注目される。

この多様性と中間層拡大がもたらす変化を背景として、日本企業にとってASEANは、重要な事業機会のある地域であるといえよう。

■ 図1 ASEAN6と世界、中国の実質GDP成長率



（注）ASEAN6は、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムの実質GDP成長率を、IMFによる2015年GDP（購買力平価ベース）シェアにより加重平均
（資料）IMF、中国国家統計局よりみずほ総合研究所作成

■ 表1 主要国とASEANの経済指標（2016年）

	実質GDP成長率（前年比）	実質GDP成長率予測値（今後5年平均値、前年比）	名目GDP（億米ドル）	人口（万人）	1人当たり名目GDP（米ドル）
米　国	1.6%	1.9%	185,691	32,330	57,436
中　国	6.7%	6.3%	112,183	138,271	8,113
日　本	1.0%	1.1%	49,386	12,690	38,917
ユーロ圏	1.8%	1.6%	164,084	50,889	32,244
ASEAN 6	4.7%	4.8%	24,387	56,179	4,341
ASEAN10	4.8%	5.0%程度	25,494	63,740	4,000

（注）ASEAN10の成長率は、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ブルネイ、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムの実質GDP成長率をIMFによる2015年GDP（購買力平価ベース）のシェアにより加重平均
（資料）IMFよりみずほ総合研究所作成

■ 表2 ASEANの多様性

	経済発展段階			親グローバル化	人口要因		天然資源賦存	対中関係	地理的連結性
	下位中所得	上位中所得	高所得		生産年齢人口	人口ボーナス			
シンガポール			○	○					
マレーシア		○		○		○	○		
タ　イ		○							○
インドネシア	○				○	○	○		
フィリピン	○				○	○		○	
ベトナム	○			○	○				
ラ オ ス	○					○		○	○
ミャンマー	○					○	○		○
カンボジア	○					○		○	○

（注）「生産年齢人口」は15～64歳人口の規模であり、「人口ボーナス」は生産年齢人口比率（生産年齢人口／総人口）の上昇期
（資料）みずほ総合研究所作成

主要自治体の入札動向

両極端な「1者入札」「くじ引き」多発

日経コンストラクション編集長　野中　賢

東京都の五輪関連工事で多発した「1者入札、99.9%落札」。競争性への疑念を払拭するために東京都は入札改革に乗り出したが、実は同様の事態は全国的に見られる。一方で、各社の入札金額が下限値に張り付いて並び、くじ引きで落札者を決定している発注機関も相変わらず多い。日経コンストラクションがこの夏に実施した調査の結果を基に、最近の入札動向についてお伝えする。

6月号の本欄でも述べた通り、2017年度から東京都は入札制度の改革に乗り出した。昨年、都が実施した五輪施設や豊洲市場の工事の入札で、「1者入札、落札率99%以上」となるケースが多発。「競争性が確保されていないのではないか」という疑念を払拭するために、制度改革を迫られたのだ。

今から4～5年前、入札制度の大きな課題の1つが「くじ引き」の多発だった。最低制限価格付近に多くの会社の入札金額が集中し、落札できるかどうかは運次第という状況が各地で見られた。1者入札、超高落札率とは正反対だった状況が、ほんの数年でこんなにも変わるのか――。日経コンストラクションでは、全国の主要な発注機関を対象にアンケート調査を実施し、最近の入札の動向を探った。

東京都だけではなかった「1者入札」発生率4割超の自治体も

調査の結果から、いくつか興味深い実態が浮かび上がってきた。

その1つが、1者入札の発生は東京都に限らず全国に広がっているということだ。2016年度に発注した土木工事を対象に、47都道府県と20政令市の計67自治体のデータを集計したところ、1者入札の平均発生率は都道府県、政令市とも約7%で、さほど高くない。ところが個別に見ると、宮城県の42.4%を筆頭に、5つの自治体で2割を超えていた**(表1)**。前述の東京都(19.1%)よりも発生率が高かったのだ。

上位には、宮城県や福島県、仙台市など、東日本大震災の被災地が並んだ。復興需要の増加によって、1入札当たりの参加者が減ったようだ。

さらに、1者入札のうち「落札率99%以上」が占める割合も概ね高く、島根県(65.3%)と岩手県(50.9%)では半数を超えていた。

なお、67自治体のうち10自治体が、1者入札を中止・無効にする制度を導入している。

くじ引きも多くの自治体で増加 上位2自治体はいずれも「事後公表」

そしてもう1つ分かったことは、1者入札が多かった裏で、くじ引き落札も多発しているという事実だ**(表2)**。表1と表2の両方に顔を出している自治体はないものの、広島県(7位と17位)や相模原市(13位と5位)のように、1つの自治体で"両極端"な状況を抱えているところも見られた。しかも、くじ引き落札の多発が問題となっていた4年前に比べ、多くの自治体で発生率が増加していた。

くじ引きが相変わらず多いのは、予定価格や最低制限価格を事前公表する自治体が少なくないことも影響している。2011年に一部を改正した入札契約適正化指針では、入札価格の高止まりやくじ引き増加などが生じる場合、速やかに事後公表への変更を検討することが盛り込まれた。しかし、官製談合などの懸念から、公表時期の変更に踏み切れない自治体が多い。

他方、事後公表でもくじ引きが減るとは限らない。実は、1位の新潟市と2位の札幌市はともに、予定価格などは全て事後公表だ。対策として、札幌市は今年2月以降、入札価格が同じでも技術点の差が付きやすいように、総合評価落札方式の配点などを見直している。

■ 表1「1者入札」発生率ランキング

順位	自治体名	発生率
1	宮城県	42.4
2	山梨県	38.7
3	福島県	32.9
4	仙台市	31.0
5	岩手県	21.3
6	東京都	19.1
7	広島県	15.0
8	島根県	13.8
9	広島市	13.7
10	名古屋市	12.3

■ 表2「くじ引き」発生率ランキング

順位	自治体名	発生率
1	新潟市	88.7
2	札幌市	74.0
3	堺市	69.1
4	奈良県	63.0
5	相模原市	58.9
6	佐賀県	56.6
7	三重県	54.7
8	岡山県	48.5
9	さいたま市	47.7
10	川崎市	47.6

(注)日経コンストラクションが2017年6月に主要な発注機関を対象に実施した入札動向調査のうち、47都道府県と20政令市の回答を集計した結果。対象は2016年度に発注した土木工事。発生率の単位は%。

かわいい土木 第6回

盆栽のように慈しまれる住宅街の“ぐるぐる”

常盤台のクルドサック／東京都板橋区

重厚長大なインフラにあえて“かわいらしさ”を見出すこの連載、今回取り上げるのは「クルドサック（袋小路）」。東京・板橋の由緒ある住宅地、常盤台には5カ所ある。設置から80余年、住民たちが盆栽のように慈しみ、手入れしてきた日本のクルドサックの元祖を見に行った。

Photo·Text：フリーライター　三上 美絵

大成建設広報部勤務を経てフリーライターとなる。「日経コンストラクション」（日経BP社）や土木学会誌などの建設系雑誌を中心に記事を執筆。広報研修講師、社内報コンペティション審査員。著書『土木の広報～『対話』でよみがえる誇りとやりがい～』（日経BP 社刊、共著）

私が「クルドサック」の存在を知ったのは最近のことだ。その語感の良さと、SNSに投稿された“丸い島”の写真に惹きつけられた。「なにこれ、ドボかわいい！」というわけで調べてみると――。

クルドサックはフランス語で「袋小路」の意味。住民以外の車の通過を防ぐために設けられるもので、突き当たりには転回用のスペースが設けられている。台形やループ道路のタイプもあるが、断然かわいらしいのはロータリー形式のもの。中心に丸い島状の緑地があり、住民の車や迷い込んだ車は、その周囲をぐるりと回って本道に出る。

日本では、東京の多摩ニュータウンや横浜のたまプラーザなどの住宅地にいくつかある。その元祖と言えるのが、戦前の昭和初期、1936年に分譲が開始された東京都板橋区「常盤台住宅地」のクルドサックだ。

常盤台住宅地のクルドサック。発祥はアメリカだが、日本にくればこのとおり、どこか盆栽的な風情が生まれる。

80余年の年月が刻む個性

東京・池袋から東武東上線で約10分のときわ台駅。駅前を抜け、閑静な住宅街の通りを脇道に入ると、前方に何やら不思議な植栽が見える。近づけば急に視界が開け、円形のスペースが現れた。クルドサックだ。地図上では、道の先がフラスコの底のように丸く膨らんでいる。

円の中心は、孤島を思わせる小さな緑地。枝ぶりの見事なアカマツが1本、足元にはこんもりとしたツツジ、ピンクの花をつけたフヨウ、リュウゼツランなどが所狭しと植えられ、あたかも巨大な寄せ植えの盆栽の様相。島を囲む道路の向かい側には、住宅が扇形に並んでいる。

常盤台1丁目、2丁目には全部で5カ所のクルドサックがある。大きさはさまざまで、植えられている草木の種類もそれぞれ。その個性が、このまちの80年余の歴史を示している。住民らしき年配の男性が、せっせと手入れをしている場面にも遭遇した。

参考案がまさかの実現へ

常盤台住宅地は、東武鉄道が沿線開発の第1号として分譲した高級住宅街だ。設計は内務省官僚だった小宮賢一。こうした官民連携の住宅開発は、当時極めて珍しかった。このあたりの事情は越沢明氏の著作『東京の都市計画』に詳しい。

同書によれば当時、区画整理の認可を受けるには、内務省のチェックが必要だっ

道の先端がロータリーになっており、周りを囲むように住宅が配置されている。

た。当初計画が平凡な碁盤目割りだったことから、内務省は新人の小宮の研修を兼ねて参考案を描かせ、事業主の東武鉄道に再考を促そうと考えたらしい。

小宮が外国の都市計画の本などを参考にして作り上げたのは、環状のプロムナードやクルドサック、ロードベイ（道路沿いの修景緑地）を配した緑豊かな住宅地のプランだった。クルドサックは日本に前例がなかったため、自分で自動車会社からカタログを取り寄せ、車の転回時の軌跡を作図して大きさを決めたという。

面白いのは、後日談だ。参考案のつもりで描いた図面がどうなったかを小宮は知らなかった。区画整理が完了した常盤台を偶然訪れ、自分の設計したまちがそのまま実現したことに一番驚いたのは本人だったのである。

親しまれる「みんなの中庭」

今回の記事執筆の途中で、常盤台で育った友人がいるのを思い出した。クルドサックのことを聞いてみたが、通じない。袋小路のロータリーだと伝えると「それなら知ってる。同級生がそこの家に住んでいて、庭代わりによく遊んだ」と。

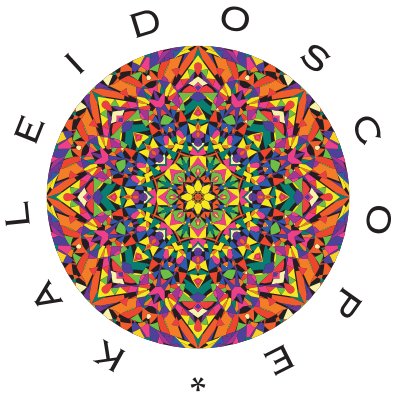
子どもたちから「○○ちゃんちの前」とか「ぐるぐる」と呼ばれたクルドサックは、車がほとんど入ってこないうえ、中央には植栽、最奥には細い路地があり、隠れんぼや鬼ごっこに最適だった。

住民から親しまれ、まちに緑の潤いを与えるクルドサック。残念なことに換地設計の面倒さや、宅地開発に行き止まり道路を認めない都道府県が多かったなどの理由で、日本ではほとんど普及しなかった。だが最近は、規制を緩和した自治体やミニ開発の住宅地で、少しずつ採用されつつあるようだ。もしかすると、あなたのまちの路地の奥にも、“盆栽のぐるぐる”が隠れているかもしれない。

5カ所のクルドサックはそれぞれに大きさや植栽が異なる。住民らしき男性が手入れをしていた。

クルドサックの最奥には人が通り抜けられる路地が設けられている（上）。

中央に街路樹が植えられたプロムナード。



今どきの工事現場は
ユニーク&かわいいがキーワード!?

かわいい工事現場

最近の工事現場はかわいらしいキャラクターをあしらったバリケードや照明器具などを使っている現場が多く見られるようになり、これまで殺風景な印象が強かった現場の風景がガラッと変わってきています。その種類も動物やゆるキャラ、おじぎガードマンなどさまざま。

こうした製品を利用する理由と効果についてこれらの製品を開発した2社にお話をうかがいました。

キャラクターバリケード
セフテック株式会社〈アヒルガード・カッパガード〉

カッパガード

アヒルガードは2種類あり、青は九州限定。色が濃い分、反射シートを追加している。「子どもにも好評です」と美田さん。

かわいい工事現場の火付け役といえば、キャラクターバリケードともいえるでしょう。建設現場保安用品の製造販売・レンタルを行うセフテックは、同社オリジナルのキャラクターバリケードとして「アヒルガード」「カッパガード」を開発しました。

「これまでバリケードは主に鉄製でしたが、樹脂製のものが開発され、軽量になっただけでなく、成型もしやすくなりました。そこで、社内公募を行い、さまざまなデザインを検討しました。かわいいだけでなくバリケードとしてもきちんと機能しないといけませんから、左右対称で倒れにくく、かつ視認性が高いものということでこのデザインになっています」(取締役・営業本部副部長 美田昌宏氏)

同社では主に学校の工事現場や長期にわたる現場、人通りの多い現場での引き合いが多いとのこと。「こうしたキャラクター用品があると注意をひきやすいですね。バリケードは通行人だけでなく、車などから現場の作業員を守るという大切な役割があります。簡易に設置・撤去ができること、そして安全を守るということを基本に現場からの要望に応えていきたいと思います」(美田氏)。

デザインバルーン(投光器)
ヤンマー建機株式会社〈ライトボーイ〉

夜間の工事現場の安全は明るさです。ヤンマー建機では、従来のバルーン投光器だけでなく、キャラクターをあしらったデザインバルーンを取り扱っています。

「真っ白いバルーンだけではつまらない、という工事現場の人の声をきっかけに社内でデザインを検討し、試作を何度も重ね、2002年から発売しています。デザインバルーンは夜間工事現場のイメージアップということだけでなく、やはり歩行者や通行する車両の目を引くので注意を促しやすいです。特に道路工事で問題になるのは渋滞です。しかし通行される方の反応を聞くと、キャラクターのかわいい灯りを見ると許せるという声もいただいているようです。また現場作業員の方からは、殺伐とした現場が一気に和やかになるという声も聞かれます」(営業企画部)。なかでも「たるガードマン」は"たる"で照度も確保しつつイメージアップができることで、出荷数が多いとのこと。そのほか、用途次第でさまざまなバリエーションも可能ということで、お祭りや献血会場などでも使われています。

たるのんべえ

ダンプカー

たるお祭りはっぴ

たるガードマン。たる部分の文字はオーダー次第で自由に入れられる。

しんこうTODAY

振興基金の活動報告

文部科学大臣認定「実務施工体験研修」の実施

本財団では「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」事業の一環として、教育関係者との更なる連携を強化し、教育現場における建設実務面の支援を行うべく、平成21年度より導入された「教員免許更新制」に対応した免許状更新講習（選択領域講習）の認定を文部科学大臣より本年5月に受け（29文科初第298号）、8月24日～8月26日の3日間で富士教育訓練センターにて「実務施工体験研修」（建設業における施工の実務を体験できる研修の実施は全国初となります）を実施しました。詳細につきましてはP14、15のFOCUSでご紹介します。

さいたま市立七里中学校キャラバン

■開 催 日：平成29年8月31日（木）
■開催場所：さいたま市立七里中学校
■主 催 者：建設産業戦略的広報推進協議会
■参 加 者：さいたま市立七里中学校 全校生徒266名
■協　　力：全国低層住宅労務安全協議会（じゅうたく小町）
（順不同）（一社）埼玉県建設業協会、埼玉県立大宮工業高等学校
埼玉県立いずみ高等学校、（株）JM、大和ハウス工業（株）

建設業団体や国土交通省などが参加している建設産業戦略的広報推進協議会は8月31日、さいたま市の七里中学校で、建設業の魅力を発信する「学校キャラバン」を開催しました。

住宅建設の工程の説明、ヘルメットと安全帯を付けての指さし呼称体験、パネルを使用した自然災害に対しての建設業の取り組みの説明、VR・ドローン・3Dプリンタを使用した最新技術の紹介、熱中症対策のクールベストや作業支援用のロボットスーツの装着が主な内容。

今回、埼玉県内の工業系高等学校2校も参加しました。鋼管パイプで作った「ミニ吊り橋」を使った土木の説明と体験、建築構造の説明と新聞紙によるトラス構造の製作体験が行われました。「ここ（実習場所）の天井もトラス構造でできている」と高校の先生に言われて天井を見上げた生徒からは驚きの声が聞こえました。

終了後、実習助手として協力してくれた高校生と参加企業に勤務する女性技術者との座談会が行われました。

第22回建設業経理士検定試験（1・2級）を実施

9月10日（日）、第22回建設業経理士検定試験（1・2級）が全国47地区／53会場で実施されました。

受験申込者数は約21,000名。試験合格結果は11月10日（金）に発表されます。

次回、第23回建設業経理士（1・2級）及び第37回建設業経理事務士（3・4級）検定試験は、平成30年3月11日（日）に実施されます。受験申込期間は平成29年11月17日（金）～平成29年12月19日（火）まで。

試験研修についての詳細はこちら　http://www.kensetsu-kikin.or.jp/gyom2/　建設業経理　検索

FOCUS

富士教育訓練センター全景

建設業界の現状と課題の講義

初日のグループ討議

朝礼後の危険予知ミーティング

躯体実習の座学講義

文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室 教科調査官
持田 雄一 氏

平成21年4月から実施されている教員免許更新制において、10年に一度、免許状更新講習を受講・修了し、免許管理者である都道府県教育委員会に対して、修了確認又は有効期間の更新のための申請を行う必要があります。今夏、建設業振興基金には、受講者が任意に選択して受講する選択領域として、「実務施工体験研修」を開設していただきました。この講習は、実際に建設工事の施工を通した、教科指導等に有効な内容であると伺っております。

受講された先生方には、身に付けられた知識、技術及び技能により、生徒にはどのような資質・能力を育成するのかについてお考えいただき、授業改善にいかしていただくことを期待しています。

東洋大学理工学部建築学科 教授 浦江 真人 氏

教育活動・進路指導に役立つ講習内容に

本研修では、ゼネコン、ハウスメーカー、専門工事業者で教育研修に携わる方々が講師となり、実務型体験実習のほか、最新の技術、人事・研修制度など、建設業界のリアルな実情を話してもらうことで、今後の先生方の教育活動や進路指導に役立つ情報を得てもらうことが目的です。企業としても建設業界としても工業高校への期待は高く、その点では今回の研修でうまくマッチングができたのではないでしょうか。さらに、これをきっかけに企業と先生方とのつながりができることで、今後、ネットワークが広がればいいと思っています。また参加された先生方には、このような実践的な経験が得られる研修の存在や意義について、ぜひとも他の先生方にも紹介してもらい、来年以降も多くの先生が受講されることを期待しています。

(一財)建設業振興基金 経営基盤整備支援センター 人材育成支援総括研究部長 東(ひがし) 真生

「若い人たちに明日の建設産業を語ろう」というメッセージが建設産業政策会議からありました。高校生をはじめ若い人たちが、安心して建設業の現場に入職して育ってもらえるようにとの願いです。今回参加された高校の先生方は、担い手確保・育成に取り組む当基金の頼もしくて末永きパートナーになってくださることでしょう。次回もより充実した研修になるよう、みんなで工夫します。

柱鉄筋組み立て前に設置位置を計測

墨出しの実習

柱鉄筋を組み立て

教員の建設実務面を支援

第１回「実務施工体験研修」

教員免許更新制における免許状更新講習（選択領域）
～担い手の育て手（指導者等）の確保に向けて～

「モノづくりは人づくりから」を指針に、未来の建設業を担う人材の教科指導等に携わる教員を対象とする「実務施工体験研修」が開催されました。この研修に携わった関係者に研修の目的や意義をお伺いし、実際に受講された先生方の感想を紹介します。

職業訓練法人
全国建設産業教育訓練協会・富士教育訓練センター
校長　小松原 学 氏

工業高校・総合高校等では、実習に必要なフィールド不足や費用、さらに教職員の現場経験が薄いことも課題となっているようです。企業の人材に関するニーズ把握も重要ですが、学習指導は学習指導要領に基づいて行われていると思われます。研修では、従来の実績を生かした実務型体験実習と、企業とのディスカッションを通して今後の教育活動に有用となる体験を提供しました。

■ カリキュラム

8／24（木）	**入校式・ガイダンス** **講義**「建設業界の現状と課題」（浦江東洋大学教授ほか） **グループ討議**（受講者を含め全員参加） 「これからの工業教育のあり方と建設業界への就職について」
8／25（金）	**躯体実習**（墨出し、柱鉄筋の組立） **躯体実習**（梁鉄筋の組立、柱・梁型枠建込） **映像講習**（最新の建設技術動向、施工現場技術リポート）
8／26（土）	**躯体実習**（スラブ型枠建込、解体・片づけ） **筆記試験** **アンケート**

受講者の声

「実務施工体験研修」に参加した皆さんに感想をお聞きしました。

千葉県立市川工業高等学校 定時制建築科　神品（こうじな） 賢士 さん

20年間担当していた機械科から建築科に転属して3年目。手に職をつけて建設業で生きるんだという生徒の意欲に応えるべく、より専門性を高めようと受講を決めました。つくる楽しさを実感し、教える側としても初心に返る思いです。

京都市立伏見工業高等学校 定時制工業技術科 建築系列　東（ひがし） 宏喜 さん

身体を動かして実際に造ることで、構造計算やCADでの製図など座学で教えてきたことが1つにつながり、ますます建築が面白くなりました。教えられる側の気持ちを思い出したり、企業の独自ノウハウを垣間見たり、多くの収穫がありました。

千葉県立市川工業高等学校 定時制建築科　宮下 陽介 さん

定時制なので建設現場で働く生徒が多く、もっと体験に基づく教え方をしたいと考えていました。研修を受けて、道具の置き方にも現場の理由があるなど、建築の奥深さを発見すると同時に、自分のやり方を見直す機会にもなりました。

愛知県立碧南工業高等学校 建築科　竹内 一生 さん

教員免許更新の該当年であり、さらに実務経験を得たいと考えていたので、一石二鳥と思って申し込みました。愛知は工業が盛んで生徒の意識も高いので、ここでの経験をもとに建築に関する新しい気づきを与えられたらと思っています。

大分県立日田林工高等学校 建築土木科　小野 利幸 さん

卒業生の就職先訪問で富士教育訓練センターの評判を聞き、興味を持っていました。今年が免許更新で、しかもこのセンターで開催されると知り、この好機を逃すまいと申し込みました。雄大な富士山のもとで新しい視点を得て、生徒にも学び続ける大切さを伝えたいです。

静岡県立天竜高等学校 総合学科建築系列　栂尾（とがお） 樹 さん

大学卒業後、講師を経て今年4月に教職に就き、少しでも経験値を高められたらと思って応募しました。知識や技術はもちろん、企業の方が語る業界の課題や現場の解決力の高さなどに接し、知らないことの多さを痛感し、いっそう学習意欲が湧きました。

柱の型枠建込

梁・スラブ型枠施工

実習用躯体の完成

街に出ればアートがいっぱい

マチナカ美術館

第3回

瀬戸内国際芸術祭の作品がいつでも見られる場所

香川県高松市　高松港周辺の作品

今ではすっかりアートスポットのイメージが定着した瀬戸内海の島々。そもそもは、1992年に美術館とホテルが一体となった施設「ベネッセハウス」が香川県直島にオープンしたことに端を発する。1994年には草間彌生の代表作で、直島のシンボルともなる《南瓜》の展示を開始、黄色く大きな水玉模様の南瓜が海に佇む風景により注目を集めることとなった。その後、2004年に地中美術館、2010年6月には李禹煥美術館がオープン。同年7月からは瀬戸内の島と高松港周辺を会場として、3年に一度開催される現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」がスタートし、10月には豊島に豊島美術館が開館した。この流れにより、瀬戸内海は世界中から観光客が訪れる人気スポットの仲間入りを果たした。

そして、直島や豊島へのフェリーが発着する四国側の玄関口、高松港周辺もアートにあふれた場所だ。例えば、港にそびえ立つ、高さ8メートルの2本の柱は、大巻伸嗣の《Liminal Air —core—》。一部分は鏡になっていて、その日の天候や時間で見え方が変わってくる作品。瀬戸内国際芸術祭がスタートした2010年からこの地にそびえる重鎮的な存在だ。また、台湾のアーティスト、リン・シュンロン（林舜龍）による《国境を越えて・海》は、台湾から流れ着いた「種の船」をイメージした作品。瀬戸内国際芸術祭2013において豊島の浜辺に展示されたもので、作品の内部では劇場としても活用された。現在は内部の観覧はできないものの、2016年より高松港そばのサンポート高松を「安住の地」とし、強烈な存在感を放っている。そのほか、大理石や黒御影など地元産の石を使ったジュリアン・オピーの《銀行家、看護師、探偵、弁護士》や、地元の公共プール内に作品を設置した谷山恭子の《I'm here. ここにいるよ》（鑑賞はプール営業期間中のみ）、本間純の《待つ人／内海さん》など、多くの作品が街に溶け込んでいる。うれしいことに、これらの街の中にある作品群は芸術祭が開かれるごとに増えていく見込みとのこと。

「Liminal Air —core—」大巻伸嗣（高松港）

「銀行家、看護師、探偵、弁護士」ジュリアン・オピー（ことでん高松築港駅付近）

高松港から瀬戸内海へ出かける用事があるときは、船の時間より早めに港に到着し、街のアートをたっぷりと楽しんでみよう。

（取材・文　浦島 茂世）

「国境を越えて・海」林（リン） 舜龍（シュンロン）（サンポート高松）

10月は加入促進強化月間です

建退共は建設業で働く労働者のための　退職金制度です。

けんたいきょう

独立行政法人　勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1　TEL 03-6731-2866

建設業界の皆様へ　建退共への加入を検討しませんか

福祉の増進と企業の振興のための建設業の退職金制度

- 加入できる事業主は建設業を営む事業主
- 対象となる労働者は建設業の現場で働く方
- 掛金は一日　310円（加入労働者ひとり）

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保に最適！

特長

◎法律に基づき運営される国が作った制度
◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
◎国からの財政上の支援
（国の助成により掛金の一部が免除）
◎掛金は全額非課税
（損金または必要経費に算入できます）
◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
◎加入の手続きは簡単

建退共のホームページを、是非ごらん下さい。　建退共　検索

建設業しんこう
Oct. 2017 No.492
平成29年10月10日発行
第42巻 第6号 通巻第492号

HOPE

子育てをしながら目指すは香川初の女性職長！

宮本亜衣子さん

軽天・ボード貼り工 入職1年目
1977年8月生
香川県出身
新日本建工(株)

接客業から営業、事務にトラック運転手などあらゆる業種を経験してきた宮本亜衣子さんが建設業界に飛び込んだきっかけは、香川県内の内装関連工事を手がける9業種10社が立ち上げた「職人育成塾」(2017年4月号にて紹介)。「父親が左官業をやっていて、漠然とものづくりに興味があったんです」と話す宮本さんに友人がすすめてくれたのだという。職人育成塾では、左官やタイル、クロスなどさまざまな技能を2ヶ月間で学ぶ。そのなかで宮本さんが特に魅力を感じたのは、現在携わっている軽天・ボード貼りだった。「ゼロの段階からものを作るところがおもしろいと感じました」。また、2人の子どもがいるワーキングマザーの宮本さんにとっては、就業時間などもこの業界に入る動機のひとつになった。「子育てをしながらの仕事をすると時間が本当に足りない。けれども、今の職場は以前の職種よりも残業が少なく、子どもと向き合える時間が大幅に増えたんです。まだ女性が少ない職場ですが、そのぶん優しく扱ってもらえますし、更衣室はもちろん、トイレも女性用がちゃんとあるところも増えてきました」

宮本さんは職人育成塾での職業訓練への参加は、建設業界に興味を持つ人にぜひおすすめしたいと語る。自分がどのような職種に向いているかを見極められ、さらに後に続く工程の作業がどのようなものかを把握して仕事ができるようになるからだ。「とはいえ、塾で基本的なことは学んだものの、現場は常に『応用問題』。臨機応変な対応が求められます。そこが大変でもあり、同時にやりがいを感じるところ。親方さんのように経験をたくさん積んで、どんな現場でも対応できる力を身に付けたい」と、入職1年目ながら確固とした目標を抱く。そんな宮本さんの目下の目標は内装仕上げ施工技能士の国家試験に合格すること。「2級の受験資格が得られる2年後までに、内装仕上げ施工の2つの実技試験、そして学科試験に合格できるようになっていたい。その後は、やはり香川初の女性職長を目指したいです」と、キッパリとした表情でこれからのビジョンを語ってくれた。

■編集・発行
一般財団法人 建設業振興基金
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目 MTビル2号館